

第	テーマ	講 師	開 催 日 時	参加者数/会員数 (出席率)																																												
5回	面白くて為になる 山口県よもやま話	ほうふ幸せます 指導者人材バンク 森川 信夫 様	令和6年9月2日(月) 10:00 ~ 11:30	15名/26名 (57.7%)																																												
学 習 の 様 子				満足度の状況 <table><thead><tr><th>満足度</th><th>凡 例</th><th>回答数</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>5</td><td>大いに満足した</td><td>7名</td><td>50.0%</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1名</td><td>7.1%</td></tr><tr><td>4</td><td>満足した</td><td>5名</td><td>35.8%</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1名</td><td>7.1%</td></tr><tr><td>3</td><td>どちらとも言えない</td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>少し不満</td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>全く不満</td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>14名</td><td>100%</td></tr></tbody></table> 全体満足度 (3.5 以上) 100% 凡例 50%~ 40%~ 30%~ 20%~ 10%~ 0%~	満足度	凡 例	回答数	割合	5	大いに満足した	7名	50.0%			1名	7.1%	4	満足した	5名	35.8%			1名	7.1%	3	どちらとも言えない	0名				0名		2	少し不満	0名				0名		1	全く不満	0名				14名	100%
	満足度	凡 例	回答数		割合																																											
	5	大いに満足した	7名		50.0%																																											
		1名	7.1%																																													
4	満足した	5名	35.8%																																													
		1名	7.1%																																													
3	どちらとも言えない	0名																																														
		0名																																														
2	少し不満	0名																																														
		0名																																														
1	全く不満	0名																																														
		14名	100%																																													
日常生活の中で主にシニア世代の方が使われ、石川啄木でなくても、ふるさと防府小野を感じられる方言について、幸せます人材バンクより森川信夫さんをお招きして学習しました。																																																
奈良・平安時代にすでに存在していた中央のみやこ言葉などが各地に広まり、その土地土地で独自の①意味②発音③語形の変化を生じ、今に伝わっている(方言周圏論)ことや、標準語では瞬時に表現できにくいものの状態や、心理・感覚的な直観表現が可能であることなど、その成り立ちの特徴について豊富で具体的な事例を挙げての講義でした。																																																
「ねつい」は「根強」または「熱」から、「かぶる」は「噛み触る」または「かぶふる(頭振)」から、「じるい」のおおもとの語源は「汁」からなど、複数の説があるそうです。																																																
教室生の方々は、一例として布団を「しく」か「ひく」かで、互いに声に出して活発に話し合われていました。「方言の知識が広がった」との発言もあり有意義な学習となりました。																																																
参 加 者 か ら の ア ン ケ ー ト 結 果	満足度の状況																																															
	参加者からの意見・感想 ・ 昔の日常語をおもい出しました。 ・ 「ねつい」話で楽しかったです。 ・ ありがとうございました。 ・ 途中で少し休憩があれば。 ・ 大変勉強になりました。またお願いします。 ・ とても楽しい学習会でした。方言大好き。今後のご活躍をお祈りいたします。																																															

日常生活の中で主にシニア世代の方が使われ、石川啄木でなくても、ふるさと防府小野を感じられる方言について、幸せます人材バンクより森川信夫さんをお招きして学習しました。

奈良・平安時代にすでに存在していた中央のみやこ言葉などが各地に広まり、その土地土地で独自の①意味②発音③語形の変化を生じ、今に伝わっている(方言周圏論)ことや、標準語では瞬時に表現できにくいものの状態や、心理・感覚的な直観表現が可能であることなど、その成り立ちの特徴について豊富で具体的な事例を挙げての講義でした。

「ねつい」は「根強」または「熱」から、「かぶる」は「噛み触る」または「かぶふる(頭振)」から、「じるい」のおおもとの語源は「汁」からなど、複数の説があるそうです。

教室生の方々は、一例として布団を「しく」か「ひく」かで、互いに声に出して活発に話し合われていました。「方言の知識が広がった」との発言もあり有意義な学習となりました。